

2023年度 検索技術者検定

1級 試験問題(前半)

注意事項

1. 着席したら、受験票を机の上に置いて下さい。
2. 解答用紙の所定の欄に受験番号・氏名を必ずご記入下さい。
3. 解答時間は、13：40～15：10の90分間です。
4. 中途退席できる時間は、14：25～14：55の30分間です。
一旦退席すると、前半の試験終了まで再入場はできません。
5. 問題は1問、全1ページ、解答用紙は6ページです。確認の上、落丁・乱丁・印刷不鮮明のもの等がありましたら、手をあげて試験官にお知らせ下さい。
6. 解答は、問題文の指示にしたがい、解答用紙にご記入下さい。
(解答用紙裏面への記入は無効です。)
7. 問題の内容に関する質問は一切できません。
8. 試験問題は持ち帰って結構です。
また、受験票を忘れずにお持ち帰り下さい。

問1 あなたはある図書館（もしくは会社）の情報検索部門の責任者である。

近年、情報検索部門においても、ChatGPTに代表される新技術や新しいデータベースの導入、新しい役割への要求が生じている。その結果、例えば情報検索分野のベテランであっても既存知識やスキルでは対応できない状況が発生している。今そのような状況が発生していなくても、そのような状況が将来生じる可能性は高い。その状況を打破するためにも「現在とは異なる職務に就くために必要なスキルを習得する」リスキリングが必要となっている。そこで、図書館や会社等の情報検索部門の組織内で情報検索スキルも活かして新技術や新役割へ対応するためのリスキリングについて、制度を企画・運営することになった。

以下のすべての点について、解答用紙3枚程度で論じなさい。

解答には、内容を表す適切な題目をつけなさい。

- あなたの所属組織について。（この問題に解答するうえでの組織であり、実際に所属している組織と異なってもよい）
- 新技術や新しいデータベース、もしくは新しい役割の具体例を挙げたうえで、既存のスキルでは対応できない具体的な状況について。
- 上記状況への対応のために、リスキリングが必要とされるスキルは何か。
- 上記状況への対応のために、必要とされるスキルのリスキリングを行うための具体的な手法や構成。
- リスキリングを行う時に、責任者が特に注意すべき点について。
- 受講者の理解度と研修の効果をどのような方法で評価するか。